

＜学校教育目標＞

心身ともに健全で 未来を築く たくましい力をもつ生徒の育成

＜めざす生徒像＞

- ㊦ あいさつができる生徒
- ㊧ そうじができる生徒
- ㊨ 部活動・習い事を頑張る生徒
- ㊩ 勉強を頑張る生徒
- ㊪ 進路を切り拓く努力をする生徒

人権集会 12月1日(金)

本校は千葉県の学校人権教育推進校です。

そのため、人権教育に非常に力を入れています。1年間を通して、各学級で人権について学び、考えます。その中で、1人ひとりが人権作文や人権メッセージを作成します。

この度の人権集会では、今年度の優秀作品(学級代表作品)が披露されました。それぞれの作成者が、作文やメッセージに込めた思いを直接全校生徒に伝えてくれました。優秀作品の中から、作文は各学年1つずつを学校代表として選び、メッセージについては、最優秀作品を1つ決定しました。

また、校長先生のお話の中では、2014年、沖縄終結戦の追悼式典で当時小学3年生の男の子が平和を願って読んだ詩「空はつながっている」が紹介されました。小学生の素朴な思いを読み、心を動かされたこと、改めて「人の命の大切さ」「人への思いやり」「人権への意識」について考えてもらいたいと思い、紹介した、といったことがお話されました。現在、その詩は愛知県の高校生が英訳し、イラストを描き、映像化して配信されているそうです。

集会の後は、5月の生徒総会で行われた「さしみ宣言」の署名が行われました。全員が「さしみ宣言」の言葉の意味をよく考え、毎日を過ごして欲しいと考えます。



【作品介绍】

◎作文の部

学校代表	「外国人の差別」	1-2
	「私の中の変化」	2-3
	「これ以上傷つけないように」	3-3

優秀作品(名前のみ)

1-1	1-3	2-1
2-2	3-1	3-2

◎メッセージの部

最優秀賞

「この現状 あの惨状 この世界のどこかの 誰かの悲しさ あの子の願い
知ったなら 手が届かなくとも考えて 見て見ぬふりは一番の罪」 3-1

優秀作品

「大丈夫だから 私に見せて 仮面の裏側」	1-1
「過去は変えられなくても 未来は変えられる 進もう前へ」	1-2
『私はあなたの見方だよ』 その一言があたたかい 今度は私が言う番だ」	1-3
「見えてない 心に刺さった 言葉の矢 消しても消えない 傷の跡」	2-1
「目を向けて 探しに行こう 助けよう 誰のために 何が出来るか」	2-2
『助けて!』と言わせるのではなく『大丈夫?』とよりそう世界へ」	2-3
「なやんでない? だいじょうぶ?」	3-2
『あたたかい心』ってどんなもの? 『それは○○○○○です。』	3-3

3人の作文を「全国中学生人権作文コンテスト千葉県大会」に学校代表として応募しました。

きらめき

R5.12.22発行
発行責任者
加藤 康男
文責
田口亜紀子

生徒数
合計250名
1年 74名
2年 88名
3年 88名



佐倉東中学校
～好学力校～

学校林整備

学校・PTA・社会福祉協議会・地域住民で行うボランティア活動です。興味のある方、ぜひご参加ください!

毎月/第2土曜日・第4日曜日
【九時～十一時】に行っています。

